

## 低入札価格調査の失格となる判断基準（測量・建設コンサルタント等業務版） （住宅建築局を除く。）

### 【建設コンサルタント業務】

#### I. 形式審査

##### 1. 低入札価格調査資料について

①低入札価格調査資料（添付資料を含む。）が、すべて整っていない。

《注意事項：資料受付時に、ページ数と合計枚数の確認を行う。欠落が無いように提出前に十分確認すること。》

#### II. 詳細調査

##### 1. 調査の協力について

①ヒアリングに応じない。

②調査時に、不誠実な言動がある。

（回答済みの内容が変更される場合も含む。）

##### 2. 設計数量について

①設計図書、仕様書で定める数量を満足していない。

##### 3. 積算内容について

①入札価格の内訳書と入札価格が一致していない。

②入札価格の内訳書と明細書が一致していない。

③金額が一括計上されているため、内容が確認できない。

④積算内訳が正しく記載されていない。

イ. 委託費内訳書及び入札価格の内訳書の合計額が一致していない。

ロ. 総合評価落札方式（技術提案型）の場合、その内容が内訳書に正しく反映されていない。

⑤一般管理費等について、「調査内容」で規定している内容を満たしていない。

⑥自社技術者の雇用関係が確認できない。

⑦算出方法についての的確に説明できない。

##### 4. 法令違反と認められる。

##### 5. 第三者照査について

①第三者による照査等を実施する者の確約書が提出できない。

②確約書を提出した第三者による照査等を実施する者が、大阪府都市整備部（住宅建築局を除く。）低入札価格調査制度実施要領（測量・建設コンサルタント版）第11の要件を満たしていない。

##### 6. その他

①「低入札価格調査の調査内容」で規定している条件を満足していない。又は確認できない。